

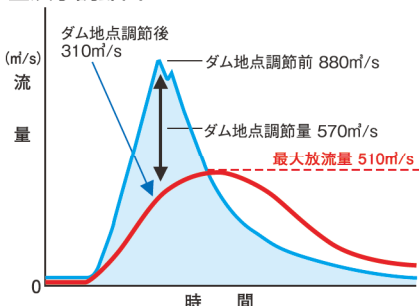
横川ダムの治水事業

横川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給、発電を目的とした多目的ダムで、平成20年度から運用を開始しています。発電は、横川発電所において、最大使用水量13.0m³/sで、最大出力6,300KWの発電を行っています。

■ダム諸元

| | |
|---------|----------------------------|
| 型 式 | 重力式コンクリートダム |
| 目 的 | 洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水供給、発電 |
| 堤頂高(標高) | EL.267.5m |
| 堤 高 | 72.5m |
| 堤 頂 長 | 277m |
| 堤 頂 幅 | 6.5m |
| 堤 体 積 | 239,800m ³ |
| 基 盤 地 質 | 溶結凝灰岩 |
| 堤体法勾配 | 下流面 1:0.78 |

■洪水調節図



防災操作(洪水調節)の仕組み(自然調節方式)

洪水調節は、ダム地点における計画洪水流量880m³/sのうち、ピーク流入時は570m³/sを調節し、その後緩やかに計画最大放流量510m³/sを流下させることで、下流域の洪水防衛を図ります。

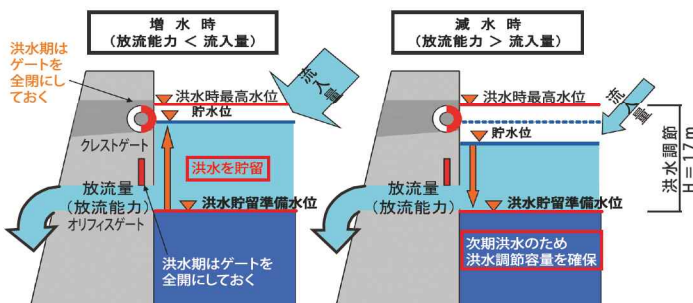
横川ダムの防災操作は、洪水期および非洪水期ともゲート操作を伴わない自然調節方式です。

洪水期(6/16~9/30)

オリフィスゲート全開、クレストゲート全閉の状態での洪水貯留準備水位(洪水期制限水位)を確保します。

洪水が発生した場合は、洪水時最高水位(サーチャージ水位)まで貯留しつつ、オリフィスゲートから洪水を流します。

洪水期 洪水調節イメージ

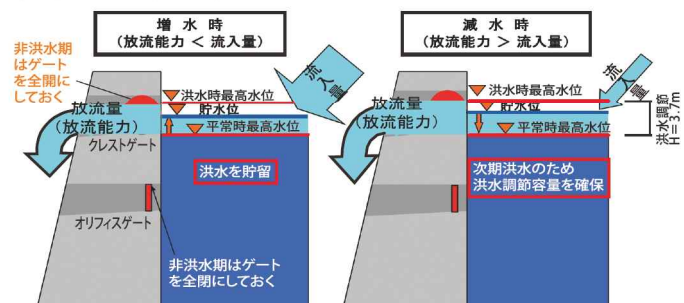


非洪水期(10/1~6/15)

オリフィスゲート全閉、クレストゲート全開の状態での平常時最高水位(常時満水位)を確保します。

洪水が発生した場合は、洪水時最高水位(サーチャージ水位)まで貯留しつつ、クレストゲートから洪水を流します。

非洪水期 洪水調節イメージ



地域とダムの情報空間 きてくろ館

きてくろ館は平成20年4月18日に開館しました。

横川ダムの流域の自然や歴史、ダム情報をパソコンやパネルなどで紹介したり、総合学習など展示物を利用方法に合わせ変化させ、教材として利用できます。



ダム水源地域ビジョン

横川ダム水源地域ビジョンは平成20年3月に策定され、その理念を実現・推進するため、地元各団体と調整を図っています。白い森おぐに湖体験は平成23年から、わかさぎ釣り体験は平成28年から開催されています。



白い森おぐに湖体験



わかさぎ釣り体験

横川ダムHP

<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/contents/dam/yokokawa/index.html>

